

令和5年度
「町民と議員との懇談会」

【実施報告書】

令和6年2月

～分かりやすく町民が参加する議会～

福島町議会

令和5年度「町民と議員との懇談会」

1 「町民と議員との懇談会」説明資料について

令和6年2月1日発行 議会だより第141号

2 班体制について

班編成	議 員(◎は班長)	事務局
A班	◎藤山 大・小鹿 昭義・溝部 幸基	角谷 里紗・熊谷 治子
B班	◎佐藤 孝男・杉村 志朗・熊野 茂夫	鍋谷 浩行
C班	◎平沼 昌平・木村 隆・平野 隆雄	福井 理央

※2月9日の班体制

白 符 ◎佐藤 孝男・杉村 志朗・熊野 茂夫・溝部 幸基

新栄町 ◎平沼 昌平・木村 隆・藤山 大・小鹿 昭義・平野 隆雄

開 催 日	町 内 会	会 場	班
2月2日(金)	松浦、吉野	松浦・吉野町内会館	A
	館崎1、館崎2・3	吉岡総合センター	B
	豊浜、宮歌	宮歌・豊浜町内会館	C
2月5日(月)	吉岡1・2、吉岡3	吉岡総合センター	A
	緑町	緑町母と子の家	B
	上町、本町、川原町	役場(機能回復室)	C
2月6日(火)	日向1、日向2、日向3	日向町内会館	A
	吉田町、館古	役場(機能回復室)	B
	月崎1	月崎1町内会館	C
2月7日(水)	月崎2	月崎2町内会館	A
	丸山団地	丸山コミュニティセンター	B
	塩釜、浦和、岩部	塩釜町内会館	C
2月9日(金)	白符	役場(機能回復室)	A・B
	新栄町	新栄町集会所	A・C
2月13日(火)	三岳1	三岳1町内会館	A
	三岳2	三岳2町内会館	B
	千軒	千軒活性化センター	C

1. 参加状況等

今年度の懇談会は、2月2日（金）から2月13日（火）まで延べ6日間開催し、参加者は17会場で99人（男73人、女26人）の参加、1会場：最大出席者数12人、最少は0人、平均5.8人、2会場で参加者0人という参加状況となりました。

2. 意見等の総括

各会場での意見を分類し、その件数と総括を、次のとおり整理しました。

全体 15会場（253件）

議会では、議会基本条例第7条第8項の規定に基づき、町民への説明責任を果たし、情報を共有するため「町民と議員との懇談会」を開催しております。

「町民と議員との懇談会」は、全町内会（17会場）を対象に、議員が3班に分かれ開催しており、平成24年度から今回で12回目の開催となりました。

今回の懇談会は、説明資料として「議会だより第141号」を用い、定例会、常任委員会で審議した内容のほか、防災、高校存続など、多岐にわたる分野で意見交換を実施し、参加した町民と情報共有を図ることができました。なお、懇談会について参加しやすい時期や時間帯での開催を望む声もあること、参加者の固定化や参加者のいない会場が複数みられたことから、検討が必要と感じております。

また、令和5年度8月に行われた町議会議員選挙において、定数割れとなったことを受け、定数・歳費を含めた議員のなり手不足対策について検討を開始していることを説明し、意見交換を実施しました。検討を進めていく際には積極的に町民との意見交換を行ってまいります。

例年実施している「町民と議員との懇談会」の継続実施は、町民が議会活動を理解する上で必要不可欠な機会であり、直接、町民に接することができる重要な場であると実感しています。今回出された意見をそれぞれの議員が活かし、議会活動に連動させ、政策提言へと進展させる実践がさらに必要です。

議会としては、今回出された意見・要望を、一般質問、予算審議へ繋げ、所管事務調査を実施し政策提言へ連動するなど、点から線へと活動を展開させ、町民の負託にこたえ、豊かなまちづくりのための糧としながら、今後とも不断の努力を続けてまいります。

1. 議会関係 12会場（55件）

12会場から、議会のなり手不足や議員からの政策提案、議会だよりや町民と議員との懇談会など、55件の意見が出されました。

議員のなり手不足については、新たな候補者を議員自ら育成する必要性や、現在の仕事の負担が増加しているため、兼業で議員に立候補することが難しいという意見がありました。また、議員に対し町民の期待に応えられるよう研鑽を重ね、自ら政策を作り町に提案してほしいという意見や、町内のイベント・行事への積極的な参加を求める意見がありました。

議会だよりについては文字のサイズは現状程度必要であり、見やすくなったという意見がありました。一方で、出席状況の表記方法の検討や、掲載する文章内容に一定の制限が必要ではないかという意見、読んでいない人もいるため、目を引くデザインが必要という意見もありました。

町民と議員との懇談会については、町政懇談会が行われて間もない時期に開催されても話すことがないという意見や、冬季間や夜間は足元に不安があるなど、時期や時間

帯の変更や、参加者を増やす工夫を行う必要があるのではないかという意見がありました。

2. 産業関係 9会場（25件）

9会場から、雇用創出、漁業、農業、風力発電など、25件の意見が出されました。

雇用創出について、町内に働く場所が少ないことが地元定住の課題となっており、学生は卒業後町外に転出せざるを得ない。地元での就職先を確保する必要があるという意見や、起業を支援してはどうかといった意見がありました。

漁業については海水温上昇に伴う昆布に対する影響を心配する声や、昆布以外の魚種についても力を入れてはどうかという意見がありました。

農業については漁業に対して予算規模が非常に小さいこと、環境変化により漁業が困難な状況になった場合、農業についてもバランスよく支援していく必要があるのではという意見がありました。

風力発電については町内全体での説明会が開催されていないこともあり、実施は決定事項なのかといった質問や、環境への影響を不安視する意見、実施したとして、町に対してメリットがあるのかという意見がありました。

3. 観光関係 3会場（4件）

3会場から、トンネル記念館等屋外展示物の扱いや横綱ビーチ、道の駅、キャンプ場について4件の意見が出されました。

トンネル記念館等屋外展示物の扱いについて、解体は決定事項なのかなどの意見がありました。

横綱ビーチについては安全対策をしっかりしてほしいという意見がありました。

道の駅については現在の状況はどうなっているのかという質問がありました。

キャンプ場については茂辺地など他自治体の盛況ぶりから、町に外貨が入ることを期待する意見がありました。

4. 福祉関係 6会場（13件）

6会場から、診療所の経営や新しい吉岡温泉、国民健康保険など、13件の意見が出されました。

診療所の経営については、受診者数の伸び悩みや医師の年齢、経営状態を心配する意見がありました。

新しい吉岡温泉については、オープンを心待ちにしているという声や、木質チップの調達、地元生産について意見が出ました。

国民健康保険については保険税の改定について、わかりやすい情報提供を求める意見がありました。

肺炎球菌や带状疱疹等の予防接種について、補助を拡充してほしいという意見がありました。

5. 衛生関係 4会場（12件）

4会場から、ごみの排出量や悪臭に関する意見が出されました。

ごみの排出量については、町民の意識改革が必要という意見や、町のPRが町民に浸透していないという意見がありました。また、地域柄高齢者が多く、家の整理等で粗大ごみが多く出ることが関係しているのではないか、種類別のゴミの量を知らせてはどうかといった意見もありました。

夏の海辺は海藻の腐った臭いが強烈であり、ぼかしをまくなどの対策を講じても効果

がない。何とかできないかという意見がありました。

6. 道路関係 なし。

7. 河川関係 なし。

8. 防災関係 8会場（38件）

8会場から、避難場所および避難方法、要配慮者への対応、具体的な計画、防災道路、避難訓練など、38件の意見が出されました。

避難場所および避難方法については高齢者が多く、現在の避難路で避難することは難しいという意見や、空地を利用して避難用の高台を造成できないかという意見、歩いて逃げるのは無理があるため車で逃げられるよう整備できないかという意見がありました。

要配慮者への対応では、対応できる住民が少なく、対応しきれないという意見がありました。

計画については、「共助」や「公助」について具体的に何をしたらよいかわからないという意見や、町内会ごとに抱える問題も違うため計画を立てる際には町内会も交えてほしいという意見がありました。

防災道路については、能登半島の地震でもわかる通り道路が1本しかないと有事に大変苦勞するため、複数の道路が必要という意見や、現在の進捗状況を知りたいという意見がありました。

避難訓練については、町全体で開催しても開催していることを知らない人もいるため、町内会など小規模単位で実施できれば良いという意見がある一方、町内会単独で実施することは難しいため町の防災訓練に参加しているという意見もありました。町で開催する避難訓練については、平日に開催されると普段仕事をしている人は参加できないため、日曜日に開催することはできないかという意見がありました。

元日に発生した能登半島地震により防災に対する危機意識が非常に高まっていることが感じられる意見が多数ありました。

9. 教育関係 15会場（44件）

15会場から、福島商業高等学校の願書出願状況や学生の就職・進学への支援、地元定住、財政への影響など、44件の意見が出されました。

福島商業高等学校の願書出願状況については、29人という大幅な増加を喜ぶ意見や、地域ぐるみで歓迎したいという意見、地域ならではの体験をさせたいという前向きな意見が数多く出されました。

学生の就職・進学の支援、地元定住については、卒業後の進路について働く場の確保や進学者の学習支援が必要という意見がありました。

財政への影響については新潮学舎の増築について、生徒が増えると町の負担が増えるが、赤字になったので支援をやめるとということにもならないことから、十分注意が必要という意見や、急遽増築することになったが、財源がすぐに出てくるものなのかといった意見がありました。

10. 住宅関係 なし

11. 水道関係 なし

12. 空家関係 2会場（7件）

<p>2会場から、危険空家対策についての質問や、空家の活用について意見が出ました。</p>
<p>13. 会館関係 1会場（1件） 1会場から、町内会館の解体について意見が出ました。</p>
<p>14. 町内会要望・町内会活動 3会場（4件） 3会場から、文化物の展示や環境整備など、4件の意見が出ました。 文化物の展示について、例大祭の山車に使用していた旗について学芸員に見てもらい価値があれば町内で保存してもらいたいという意見がありました。 環境整備について、緑川河川内の草について、増水時に危険を感じるため取ってもらうことはできないかという意見や、町内会でできることも行政に頼り切ってしまうという意見などがありました。</p>
<p>15. 第2青函トンネル関係 2会場（4件） 2会場から、第2青函トンネル構想の進捗状況や地元住民へのPRなどについて、4件の意見が出されました。</p>
<p>16. 除排雪関係 1会場（1件） 1会場から、国道の排雪に関する要望など、1件の意見が出されました。</p>
<p>17. 議員歳費・定数関係 8会場（20件） 8会場から、議員定数・議員歳費の在り方について、20件の意見が出されました。 議員定数・歳費について議会では今後どのように対応していくのかという質問がありました。 定数については人口減少に伴い減らしていく方向になるのではないかという意見がある一方、減らしすぎると偏った意見しか反映されなくなるのではないかという意見がありました。 歳費については歳費を上げても新たな立候補者がいなかったことに対し、歳費を上げても立候補にはつながらないのではないかという意見がある一方、議員を職業として考え、議員歳費だけで生活できる水準まで歳費を上げなければ立候補できないのではないかという意見がありました。 なり手不足については、新たな議員を育てるため学生や若者に興味を持ってもらうことが必要という意見や、現職の議員自らが後継者を探したほうがいいのかという意見、人口比率的に女性議員を選出してほしいが、普段の生活を見ていると女性は家庭などの犠牲を伴わなければ議員活動はできないなどの意見がありました。</p>
<p>18. その他 9会場（25件） 9会場から、役場職員の確保、SDGs、広報活動、商品券などについて、25件の意見が出されました。 職員の確保については、近年の中途退職者が続いている状況を懸念する意見や、業務量に対して不十分な人員で業務を続けることにより職員の心身不調に繋がることを懸念する意見がありました。 SDGsについては町でどのような取り組みをするのかといった質問や、世間の風潮に流されていないかといった意見がありました。 広報活動については広報誌や各種チラシ等の配布物について、防災無線による周知を連動させることで目を通してもらうきっかけづくりをしてはどうかという意見、黄色系の色は目が疲れて見づらいという意見がありました。 商品券については、いつまで実施するのかという意見などがありました。</p>

3. 地区別懇談会の開催状況

[凡例:○議会対応、◎町行政対応、☆説明済み]

月日	意見等
2/2 (金)	<p>■松浦・吉野(松浦・吉野町内会館)18:00~18:52 参加者:5人(男5人、女0人)</p> <p>【議会関係】 ○若い人が立候補していかなければ先行きがない。若い人の声を聴くのは大事なことだ。 ☆各種団体の青年部との懇談を行い声掛けしたが、立候補には至っていない。 ○今の仕事でも以前の2倍くらい体を使うほど忙しいので難しい。本当は忙しいと言っただけでもいられないが…。 ☆タブレットの導入の状況や、他議会でのリモート議会の事例について説明 ○(リモート議会の説明に対して)企業等でもリモート勤務や通信販売など様々な働き方がある。 ○議会だよりは文字や色使いなども見やすい。 ☆少しずつ改良中のため、号ごとに様式が変わっていていることを説明。 ○QRコードがついているが、使い方がわからない。慣れていかなければいけないと思っている。 ☆QRコードの読み取り方を説明</p> <p>【議員定数・歳費】 ○今回議会選挙で無投票になり議員が1人少なくなったが、議会として特に何も差し支えないのでしょうか？ ☆委員会運営に支障がある。現在の体制と、次期改選期に向けた課題の検討状況を説明。</p> <p>【産業関係】 ◎町のためには雇用を増やせるような企業誘致と人口増加が必要。外からお金を得られるようなものが必要。 ☆養殖コンブ作業省力化の計画状況、高校生の体験学習的な扱いでの作業について組合長と話していることを説明。 ◎漁師の町なので迎えるとしたら、工場や商船。苫小牧のようになればと思う。 ◎外から来てくれた高校生がそのまま福島に残って漁師をやるとするのは難しいと思うので、違う職場があれば福島町で働ける。そうなれば家族も来るなど、外から人を集めることができるのではないかと思う。 ☆福島商業卒業生を雇用した場合の事業所に対する町の支援、増築する寄宿舎の計画について説明。 ◎働くところがあれば、地元との繋がりもできる。アルバイトなどでも。</p> <p>【防災関係】 ◎能登半島の地震災害を見ていると、かなり手をこまねいているように見える。作業のためには複数の道路が必要だと思う。町長から道路整備の話聞いたが、万が一の場合に困るので、本当に少しでも早くやってもらいたい。福島町ではどの程度の津波が想定されているのか。 ☆津波の高さは4mが想定されていると説明。 ◎避難通路は階段で作られているが、高齢で足腰が悪く、登るのは難しい。管理面でも、町で草刈りをしているが、時期になると草が茂って登れなくなっていたりする。素早く避難するため、近くにある空地を10mぐらいの高さに造成し、スロープを付けて登れる場所を作るのはどうか。能登半島の被害を見ると驚くとともに恐怖を感じる。町でも対策を考えていると言っているが、どの程度のスピードでマップのようなものを出して、避難する物を建てられるのか聞きたい。 ☆特別地域に指定されたことで、防災関係の事業を進めていくこと、冬の対策、一時避難場所やそこへ繋がる階段などの整備、役場や学校等の避難所等現在の検討状況を説明。白神～松浦間の旧国鉄路線をベースにした道路整備計画の状況を説明。</p>

- ◎松浦の沢と吉野の沢、その中間が崖になっている。そこに津波に対応するような高さの一時的避難所等が必要ではないか。
- ☆議会での議論では、公団の住宅から国道に沿って1本高台へ通してはどうかという話がある。
- ◎65歳以上が50%以上で、足腰が悪い人も多いため、車いす等で運ばなければならない。現在の避難路までは距離があるので、すぐに避難できる空地等が必要。
- ☆具体的に検討をする段階まで行かなくてはいけない時だと思う。特に独居、高齢者の一人暮らしの方、建物が増えている。そういう方たちの対応等を含め、町内会単位でもどういった協力体制にするかまで細かく話し合い検討し、総合訓練等を繰り返し行っておかなくてはならない。
- ◎以前避難した際にバスを使ったことがある。しかし、実際に津波にあつたらバスに乗る余裕があるだろうかと思った。すぐに逃げられる一時的な避難場所が一番必要。
- ◎一時避難する場所は車で行きやすいところにしてほしい。自分の足で逃げることは難しく、隣近所に車のない人がいたら乗せていく可能性があるため。
- ◎階段だと一人ずつしか登れないため逃げ遅れに繋がると思う。
- ◎町内会でも名簿をもらっているが、松浦の場合は対応する人数が足りない。この人もあの人も配慮となると対応しきれない。
- ☆その辺りの実態をもう少しきちんと把握してやらないといけない。
- ◎具体的に計画を立てる時になれば、町内会を交えてやってくれるということでもいいのか。
- ☆町内会ごとにその箇所の検討を相談するというに絶対しなければならないと思う。
- ◎防災マップが配られた時に説明会があつたと思うが、自分たちですら覚えていないのだから、他の町民の人たちも忘れてしまっていると思う。
- ☆もう1回能登半島の状況を見て、町の方もしっかり対応するようにしなくてはいけない。
- ◎隣近所の要配慮者を助けようにも、それぞれ年寄りがいる人などが多く、家族が多い人は自分の家族だけでも精いっぱい。行き会う人に、今度何かあつたら車で連れていかなきゃならないと話をしたりはしている。
- ☆家族多い人はできないのだから、家族の少ない人や若い人など、本当に細かく町内会の状況を見て調整をしなければならないと思う。今回の能登地震を機会に整理しておかないと、また1年2年経つと忘れてしまう。
- 議員の研修で地震の体験をしたというが、それはこれから揺れるぞと構えられるが、実際は構えられないだろう。
- ◎ライフラインを本当にしっかりしないと。
- ☆福島町も国道1本しかないの、松前半島道路等早く整備しなくてはならない。

【教育関係】

- ◎高校の方は、徐々に外部から入って来ているから、もっと進めていけたら良い。
- ◎この度は志望者がたくさん集まって良かった。
- ☆今回の募集人数に至った要因と思われる生徒や教員の活動について説明。今後も多くの子供達が来てくれるように努力を続けなくてはならない。
- 全国募集は昨年4月から始まったが、町内の中学生にも良い刺激になり、福島中学校からの進学者も増えた。福島にいながらにしていろいろな地域の子供達と交流できることを魅力に感じたのかもしれない。
- ◎来てくれた学生には福島町の体験をさせてあげたい。
- ☆昆布のアルバイトも含め、様々な形で地元に関わるような経験をさせていきたい。そのことで地域に愛着を持ち、一人でも二人でも福島で働きたいという事になれば良いと思う。昆布の件は組合長と話をしている旨を説明。
- ◎高校生の成績はいいのか。
- ☆多数の資格取得者がいること、資格取得への補助制度などを説明。進学を目指す子供のために学習環境を整えることも必要だと考えている。
- ◎上の学校に行くための制度は前から整っている。専門学校や短大に行った子供がいる。
- ☆東京農大や未来大学等に推薦枠がある。
- ◎商業はやはり商業であつて職業訓練校。商業高校から大学に行つたら大変だと思う。

	<p>☆勉強したいという子供の思いをきちんと受け、そういった体制も整えなくてはならない。大学へ行くという子供に対する町の助成体制なども、子供たちが町に戻ってくることを条件にする等、色々と考えていかなくてはならないものはある。</p> <p>◎ちゃんと生活できるだけの能力が福島商業で修まってくればいいが。</p> <p>☆教育委員会や学校だけでなく、町全体で様々なことで声かけて育てていくことが大事だと思う。</p> <p>◎町内会連合会の方でも協力をしなくてはいけない。</p> <p>◎今回の事がチャンスのように感じている。</p> <p>☆人材を育てるといふことだから、大事にしなくてはいけない。一生懸命やって成果があった、今後もきちんと議論していく必要がある。</p> <p>【その他】</p> <p>◎提案しても通らないから駄目。</p> <p>◎何か質問や意見をすることも口下手だからよくないんだと思う。上手く言えない。</p>
<p>2/2 (金)</p>	<p>■館崎1・2・3(吉岡総合センター)18:00~18:47 参加者:5人(男5人、女0人)</p> <p>【議員定数・歳費関係】</p> <p>◎議員定数等について、これから議会全体で検討していくのか？今回の選挙結果で報酬を上げれば良いということではないことが分かったと思うが？</p> <p>☆そうです。現在、議運委員の意見を集約しているが、議運以外の議員とも情報を共有して検討していく。</p> <p>【教育関係】</p> <p>◎高校の出願状況、29人とのことから上手くいってほしい。</p> <p>☆昨年9人だったので心配していた。このままいくと寮の部屋が足りなくなるので、増築しなければならない。</p> <p>【福祉関係】</p> <p>◎新たな吉岡温泉、4月下旬オープンとのことで楽しみ。</p> <p>☆ぜひ利用してください。</p> <p>◎福島診療所、なぜ赤字なのか。原因は？</p> <p>☆人口減少もあるが、やはり、自分もそうだが今まで通っていた病院に行ってしまう。簡単には変えられない。</p> <p>【衛生関係】</p> <p>◎資源ゴミ、なぜ冬期間は回収しないのか？物置にたまっているのだが。</p> <p>☆冬は集める場所の確保も大変なので…。</p> <p>◎ゴミの量が全然減っていない。自分たちの努力が必要。町も色々PRしているが、町民には浸透していない。</p> <p>☆町もコンポスト等やってきたがキツネやクマ等の問題で続かない。委員会で継続して調査を行っているが良い方法が見つからない。</p> <p>◎リチウム電池等の回収をしてほしい。</p> <p>☆町広報でもお知らせしているが、今年4月から役場にもっていけば回収する。</p> <p>【防災関係】</p> <p>◎避難路、草刈りをしないと使えない。</p> <p>☆時期を見て町にお願いしてほしい。</p>

<p>2/2 (金)</p>	<p>■豊浜・宮歌(宮歌・豊浜町内会館)17:55~18:58 参加者:10人(男10人、女0人)</p> <p>【教育関係】 ◎高校の入学者が人数増えたという話を聞いたが。 ☆高校の願書受付状況、寮の増築等について説明。</p> <p>【防災関係】 ◎正月に石川県の災害があった。町でも年に1回防災訓練を行っているが参加者が少ない。岩部から松浦の人たちは、背中が山で前が海であり、実際に津波が来たらどういう行動をとったらいいのか。避難路といっても冬場は除雪していないし急な階段で高齢者は上がっていけない。 ☆第6次総合計画で対応策を検討する旨説明。</p> <p>【福祉関係】 ◎町民が新しい温泉の事について聞いていたがどうなっているか。 ☆オープンまでのスケジュールについて説明。</p> <p>【空家対策】 ◎町内会でも空き家が多い。被害はないが崩れてきているところもあり、動物の住処になっている。町で何かしているか。 ☆基本は持ち主が解体すること。解体の補助について説明。 ◎町内の解体業者じゃないと補助が出ないため、高くても町内の業者を使っている人もいる。上ノ国だと安いので補助使わないで上ノ国の業者にやってもらった人もいる。 ☆要綱等について説明。 ◎町で空家を強制的に解体しているものもあるけどどうやっているのか。 ☆行政代執行について説明。</p>
<p>2/5 (月)</p>	<p>■吉岡1・2・3(吉岡総合センター)18:00~19:25 参加者:11人(男8人、女3人)</p> <p>【議会関係】 ○議会だより21頁の研修視察記事の中で、「共助」や「公助」といった言葉がある。言葉の意味はわかるが、福島町で災害等が起きた際に具体的に何をすればいいのかわからない。町内の各地区で具体的に何をするのかこれから話し合っていくのか。 ☆これから防災に力を入れていく中で、各町内会の実情を聞き取り、検討していくことになると思う。 ○議会だよりは昔に比べて随分と見やすくなった。高齢者が多い現状では最低限今位の文字サイズは必要。文字のサイズを大きくするとページ数がかさむことになるがやむを得ない。文字ばかりだと読む気が起きないので、今後も工夫を続けてほしい。 ○長年議長や副議長を務めている人がいると、若い人がやりたいといってもできない状況もあるのではないか ○議員は町民の代表なのだから、政策を作って町に対して出してほしい。 ○高校生は卒業後働く場所がない。一度福島を離れた人が戻ってきたいと思っても働く場所がなければ戻ってこられない。福島で仕事をするのが難しいというのであれば、どうにかする方法を考えるのが議員の役割ではないのか。 ○議員は一般町民に比べて町の状況など詳しく知っているのだから、町民のためになるように活動してほしい。</p> <p>【議員定数・歳費関係】 ○町民が少なくなってきたから、議員定数も今の人数(9人)でいいのでは。 ○議員が定数割れし、4年後も増えることは難しいと思う。今期限りで辞めるといふ議員もいるようだし、次期は8名になるのではないかと。今後の議会について議会側ではどう考えているのか。</p>

	<p>☆議会体制について検討している状況を説明。</p> <p>○議員歳費だけでは生活できないだろう。人数は減っていくので、その分生活が保障できるくらい歳費を上げてはどうか。また、女性や若い人が必要だというのであれば、議員自らが育てていくことが必要だと思う。</p> <p>○今回歳費を上げたが立候補する人がいなかった。それはやる気のある人がいなかったということではないか。</p> <p>【産業関係】</p> <p>◎白符の風力発電について、町内全体での説明会などがないが、実施するということで決定しているのか。実施するのはいいが、町にメリットはあるのか。</p> <p>☆白符地区で行われた説明会の内容を説明。</p> <p>◎風力発電の開発で森林を伐採すると聞くと、これまで漁協青年部や女性部で植樹を行ってきたので複雑な気持ちだ。</p> <p>☆そういった点については配慮して開発されると思う</p> <p>◎これまで色々な企業が福島に来たが、赤字になるものばかりで本当に町民のためになっているのか疑問。</p> <p>◎企業を誘致しても、製品を発送する等考えると不利な面がある。田舎で人口も少なく、企業もなかなか来てくれない。</p> <p>◎具体的な事業計画を立て、従業員が何人必要か等見えてくれば人も集まるのではないか。</p> <p>【防災関係】</p> <p>◎防災の関係を検討するのは地区の住民なのか、あるいは役場で検討したものが住民に指示されるものなのか。どうしたらいいか決まっていれば安心できるのだが。</p> <p>☆町で検討したものを町内会に説明し、意見を聞きながら進めていくことになるかと思う。</p> <p>◎「共助」と言っても、どのように協力していけばいいのかということが町内会としても、個人としても整理がつかないのが実情。ひとまず、隣の家の声掛けをしましょうという話はしている。</p> <p>◎役場でも、議会でも、何かの折に触れてでも公助や共助について、具体的に何をするのか話をしてほしい。</p> <p>【教育関係】</p> <p>◎卒業、進学した後、福島で働きたいと思ってもらえるように、既存の企業ばかりに頼らず、企業支援なども含めて若い人が定着するような仕組みが必要ではないか。千歳市等は若い年代が多く暮らしているが、若い人が起こした事業やお店などをよく見かける。例えば、現在アワビカレーは五島軒で製造しているが、カレーの製造まで町で完結させてはどうか。名物としてやっていくのであれば、五島軒ブランドに頼らず自前でやっていく方がいいのではないか。</p> <p>◎町では高校生の誘致に力を入れており、卒業後も福島に残ってほしいと考えていると思うが、福島に残って働きたいと思った時に働ける場所として企業との連携等をしているのか、今後どのようにしていくのか。</p> <p>☆福島商業高校の卒業生を町内企業が採用した場合の支援制度等について説明。</p> <p>◎高校の志願者が今回29人というのはすごいと思う。今後も20人前後位でずっと続いてくれればと思う。町民も歓迎する気持ちで声掛けなどする必要がある。</p> <p>【その他】</p> <p>◎今の福島が持続可能かというところではないと思う。</p>
2/5 (月)	<p>■緑町(緑町母と子の家) 18:00~18:52 参加者:4人(男2人、女2人)</p> <p>【その他】</p> <p>◎町から配布された商品券、使用期間が短い。もっと早く出せないのか。</p>

	<p>☆町も出来るだけ急いだが、発行までどんなに早くても1ヶ月は掛かることは承知してほしい。</p> <p>◎商品券等の対応、町はよくやってくれていると思うが、財政は大丈夫なのか。</p> <p>☆議会でチェックしているが、町の財政は現状堅実に運営されています。</p> <p>【会館関係】</p> <p>◎R5の町内会要望として会館の早期解体をお願いした。町からは早ければ今年解体できるかもとの回答だった。コロナ前までは色々な集まりもあったので会館の存続を希望していたが、コロナ後はほとんど使用しておらず、建物の状況も悪いので町内会としては解体ということで意見がまとまった。</p> <p>【町内会要望・町内会活動】</p> <p>◎祭りの山車や旗の処分について、山車は町内会で解体することになっているが、旗などは京都市陣織で結構な金額を掛けており、このまま処分しても良いものか悩んだ。教育委員会をお願いして学芸員に見てもらおう予定にしており、価値があれば町内で保存してもらえればと思っている。</p> <p>◎緑川の河川内の草は取ってもらうことはできないのか。以前、町に言ったときは町河川ではないので出来ないと言われたが、増水した際は危険を感じる。</p> <p>☆管理がどこであっても町に言ったほうが良い。個人で出来ることではないので。町には議会からも伝えます。</p> <p>【議会関係】</p> <p>◎議会、1名足りないけど頑張ってください。</p> <p>【教育関係】</p> <p>◎高校、希望者が増えてよかった。これからが大変だと思うが頑張ってもらいたい。</p> <p>☆一安心している。希望者が増えたことで寮が足りなくなったため町では増築を検討している。</p>
2/5 (月)	<p>■上町・本町・川原町(役場 機能回復室)18:00~19:37 参加者:5人 (男4人、女0人、新聞社1人)</p> <p>【議会関係】</p> <p>◎議員の雑感を見てショックを受けている。特定の議員に対しての誹謗中傷のように思っているので、編集の段階で良く通ったと思う。昨年2月も杉村議員が書いているが同じ人が何回も書くのか。</p> <p>☆議会運営委員会までの経緯等説明。また、議員の雑感の掲載方法等について説明。</p> <p>◎議員の雑感は編集の段階で問題にならなかったのか。</p> <p>◎恥ずかしくて町外の人に見せられない。他の町でも議会だよりを見ている人がいるから残念だ。</p> <p>◎この雑感を読む限り議員に魅力を感じないと思う。</p> <p>◎町全体のイメージにもつながる。町民の代表という立場の人がこのようなことを書いていると、他の町民も編集委員会がどうなっているのかと思うのではないか。</p> <p>◎町民は建設的な内容を期待している。編集するにあたっては掲載する条件等設けないといけないのではないか。</p> <p>【第2青函トンネル関係】</p> <p>◎昨年第2青函トンネルについて、北海道知事に要望したというのを見たが、いま現在でどれくらい手応えがあるのか。</p> <p>☆現在の状況について説明。</p> <p>◎地元からすればまた夢を見たい。実際物流の事を考えるとパンクしている状況でもあるので、地元が頑張ればなんとかなるといえるPRも必要ではないか。</p> <p>【防災関係】</p>

	<p>◎今年の能登半島の地震。福島町も震災にあったら同じように孤立することが想定される。町で様々やっているが議会として考えがあれば聞かせてほしい。</p> <p>☆第6次総合計画特別委員会等での議論の状況等について説明。</p> <p>◎松前町で白符から大沢までの道路の予算を取ったと聞いたが、福島町ではどうなっているのか。</p> <p>☆松前半島道路の状況について説明。</p> <p>◎社会教育委員会の中で、防災教育が話題になって、教育委員会の講座等で防災教育をやってみるとい話もあるので力を入れてもらいたい。</p> <p>◎よく災害は忘れたころにやってくるというが、今は忘れる前にやってくるので、町広報等を通じて絶えず町民が気付くように気配りしてもらいたい。</p> <p>【議員定数・歳費関係】</p> <p>○議会だよりの雑感のようなことがかかっていると、議員としての魅力がはなれていってしまう。</p> <p>○人口を見ると女性のほうが多いから、女性議員を選出してほしいが、誰でもなれる訳でなく、普段の生活を見ると議員活動する余裕はないと思う。</p> <p>○女性は家庭などの犠牲が伴わないと議員はできないと思う。</p> <p>○自営業で街に貢献しているが、そこから町のために頑張ろうという使命感までなかなか行きつけない。</p> <p>○議員が定数下回るのは、民意を反映させるのに偏った意見しか反映されなくなるので反対。</p> <p>【教育関係】</p> <p>◎子どもが少なくて将来どうなるのだろうかという気持ちになる。</p> <p>☆他町の現状も併せて説明。福島の高校に魅力を感じてきた人たちが残ってくれるか。</p>
<p>2/6 (火)</p>	<p>■日向1・2・3（日向町内会館）18:00～19:30 参加者:7人(男5人、女2人)</p> <p>【議会関係】</p> <p>○議員の雑感を読んだが、衝撃的な内容。掲載するまでに議会の中でチェック機能は働かなかったのか。</p> <p>☆議会だよりが発行されるまでの流れ、今回の記事に関して議員間でも問題視していること、今後は倫理条例の見直しや議会だよりの掲載内容について一定の制限を検討していることを説明。</p> <p>○今回定数割れとなったが、次期の立候補者育成について何か予定はあるのか</p> <p>☆現在、次期改選に向けて定数や歳費を含めた議会の在り方について検討を始めていることを説明。</p> <p>○去年の選挙時期に「選挙にならないなら立候補する」と言った人が複数いたと聞いた。そういった発言をする時点でやる気がないのではと思うが、選挙がなければやる気のない人でも議員になれてしまう。4年という任期の中で町のため町民のために真摯に取り組むやる気のある人が議員になってほしい。</p> <p>☆そういった話は耳にしている。議会でも青年部や女性部との懇談会を実施するなどして立候補者の掘り起こしを行ったが残念ながら今回は新たな立候補者が出なかった。次期改選に向けて引き続き若手や女性議員の掘り起こしを行っていく。</p> <p>○懇談会を開催しても、地区の住民に対して参加者が非常に少ない。参加することで町民に対して還元がなければ参加者は増えない。議会であれば、その地区に合わせた政策アイデアを考えて話すなどが必要ではないか。毎年同じことをしていても駄目。</p> <p>☆毎年同じことをするのは定点観測的な意味合いもある。</p> <p>○文化団体協議会の会議でも、イベントに議員が来ないという話は出ていて、おそらく多くの町民が同じように感じているのではないかと思う。まったく参加していないというわけではないのかもしれないが、そのように思われている状況にあることを知ってほしい。少し顔を出してくれるだけでも印象は変わるのももう少し気にしてほしい。</p> <p>☆議員各自の判断であり、全ての行事に参加することは難しいがなるべく参加するように</p>

はしている。

【定数・歳費関係】

- 定数、歳費について昨年の懇談会でも話をしたが、議員も一つの職業として捉え、兼業ではなく議員の歳費だけで生活できる位の水準まで歳費を引き上げるべきではないか。若い人が立候補できる環境を作っていくためには安定して暮らせるだけの金額が必要だと思う。ただし、急激に上げようとするとう町民の理解を得られないので、年数をかけて町民と話し合いを重ね、段階的に上げていくなど丁寧な取り組みが必要。
- ☆時期改選に向け、定数、歳費、議会体制の検討を行っていること、ある程度議会としての案がまとまった段階で町民に対して説明する予定であることを説明。

【産業関係】

- 有害鳥獣の捕獲について、畑作業などをしてしていると今でも怖い。どういった体制なのか、どのような対策を行っているのか、行っていくのかももっと周知してほしい。
- ☆現在のハンターの体制、処理施設について説明。
- 福島は農業と漁業とで予算に非常に大きな格差がある。新聞で海水温の上昇による昆布の適地変化等を読んだが、養殖コンブとはいえ今後は厳しくなっていくのではないか。これからは農業と漁業でバランスを取りながら進めていくよう議会でも研究課題として取り組むことはできないか。
- ☆福島は農家の件数が漁家に比べて非常に少なく、農協も体制が脆弱である。町では農家に対する支援も行っているが、件数や規模が小さいことから予算上も漁業に比べると差があるのは事実。議会としてどういった取り組みができるかは検討が必要だが意見として承った。
- 今まで昆布ばかりに頼ってきたように感じるが、海も変化してきている中で、もっと今の福島に合った漁業を考えることが必要ではないか。
- ☆新聞報道にもあるように、海水温の上昇により天然昆布はかなり状況が悪化してきている。しかし、天然昆布が苦境に立たされていることで養殖コンブの価値が上がっている状況にもある。海水温上昇への対策や工夫は必要となるが、養殖コンブはこれからも基幹産業として成り立つと考えている。
- 陸上アワビの養殖は商売になっているのか。1cmにするのに100円かかり、5cmまで育てるには500円かかると聞いた。養殖するための経費が高いと聞くので気がかりだ。
- ☆陸上アワビ養殖の状況、稚貝の仕入れを含めて説明。
- 福島漁港の工事はかなりの期間やっているがどうしてあんなにも時間がかかっているのか。
- ☆福島漁港は町の施設ではなく道の施設なので詳細は分からないが、工事中に追加の作業が発生する事態となったことで工期が延長していると聞いている。

【福祉関係】

- 診療所の経営について、受診者が増えないと聞く。医師も高齢であり、長期的に安定した経営をするために今後の見通しはどうなっているのか。
- ☆受診者数や診療所の体制、議会での議論状況を説明。
- 診療所の医師に公宅を建てたが、使われていないのではないか。
- ☆そのようなことはないと思う。当初は娘さんと一緒に暮らしていたが、娘さんが結婚して引っ越したなど、状況の変化はある。先生自身も福島町外に施設等もあるのでそちらへ行くこともあると説明。(R6.2.9福祉課に確認：使用されており、基本的に公宅に住んでいる。ただし、町外にも施設があるためそちらに行っていることもある)
- 国保の保険料改定について、どうせ上がっていくんだろうとは思っているが、仕組みや内容がよくわからない。もっとわかりやすく説明してほしい。
- ☆改定の状況を説明。

	<p>◎吉岡温泉のバイオマスボイラーについて、木質チップを地元で生産するという話は初耳だ。詳しく教えてほしい。 ☆木質チップ生産に関して現状と見通しを説明。</p> <p>【衛生関係】</p> <p>◎ゴミの減量化については町民の意識を改革しない限り達成することはできない。汚れたプラゴミは可燃ごみ、きれいに洗えばプラゴミになるが、洗う手間を面倒くさがってなんでも燃えるゴミにしてしまう。他の町の事例を聞くと、「分別の種類を増やす」「プラゴミはタダで回収」「初めに無料で100枚のごみ袋を配布し、それ以上必要であれば有料で購入、配布されたゴミ袋が余った場合は買い取ってくれる」など様々な取り組みがある。いずれにしても、町民の意識を改革する工夫が必要ではないか。 ☆福島町のゴミ処理負担の実情やごみ減量化に向けた取り組みについて説明。</p> <p>◎福島のごみが多いというのは燃えるゴミが多い、燃えないゴミが多いといった分類ごとの話か？あるいは全て合計した量の話なのか？地域の特徴として高齢者が多いため家の整理で粗大ごみが多く出されているのではないかと思う。ごみの分類ごとに具体的な数値を示したほうが対策を立てられるのではないか。 ☆分類ごとの数値を求め、議論していきたい。(R6.2.9 ごみ減量化に関する常任委員会資料と合わせて衛生センターから分類ごとの数値資料をもらい、議長から町内会長へ説明)</p> <p>◎昔は各家庭に焼却炉があり、そこで燃やしていたが今はそれができないというのもある</p> <p>◎海岸にもごみがかかり打ち寄せられている。町に相談していいものか迷う。 ☆遠慮せずに町へ相談するように伝えた。</p> <p>◎特に日向2の浜側で、夏場は海藻が腐った臭いがかかり強烈。ぼかしをまいてくれたらしいが効果がない。</p> <p>【教育関係】</p> <p>◎高校生が今回沢山来てくれるようで、本当に良かったと思う。今通っている学生もコンビニなどで見かけるが一生懸命で好感が持てる。 ☆高校の出願状況、これまでの経緯、今後の見通しについて説明。</p> <p>【その他】</p> <p>◎〇広報や議会だより、各種チラシ等様々な文書での情報提供がされているが、中々目を通されていないのが実情ではないか。そこで、防災無線も活用してはどうか。例えば、広報等の大きな見出しについて「この内容は広報～ページで詳しく紹介していますのでご覧ください」といった放送をする方法はどうだろうか。届いたものを見る(読む)キッカケが必要だと思う。 ☆意見を伝えると回答。</p>
<p>2/6 (火)</p>	<p>■吉田町・館古(役場機能回復室)18:05~19:20 参加者:3人(男3人、女0人)</p> <p>【議会関係】</p> <p>◎12月会議での熊野議員の一般質問。町長の答弁は議員が想定した回答だったのか？質問の中で使われている「持続可能」という言葉が最近軽く使われているように感じているので。 ☆議会だよりに掲載しているのは最初の答弁であり、この後も再質問をしている。</p> <p>◎議員はもっと勉強して町民の代表として、町と緊張感をもって対峙するなど、町民の期待に応えられる議員であってほしい。</p> <p>【議員定数・歳費関係】</p> <p>◎以前も言ったが、新たな議員を育てるのも議員の仕事ではないか。学生・若者に興味を持ってもらうことが必要。</p>

	<p>☆自分の経験では、30, 40代で出てくるのは無理だと思っている。 ○議会はいらないという声がある。定員割れしたというのはそういうことではないか。</p> <p>【産業関係】 ○それなりに知名度があったシイタケが活用できていないのが残念。 ☆生産者の高齢化や、原木・菌の高騰もあり、現在、町内で生産しているのは2軒だけになっている。 ○町内の山林全然手入れされていない。議会も勉強して協力してもらいたい。</p> <p>【教育関係】 ○高校、希望者が増えて良かったが、もっと就職等のルートを作り、福島高校に進めば就職まで安心といったイメージをもってもらえれば良いのではないか。 ☆昨年度は9人だったので心配していたが安堵している。しかし、今の子供たちは卒業＝就職ではなく、進学が多い。</p> <p>【その他】 ○6次計の特別委員会レポート、「ゼロカーボン」「SDGs」について記載があるが、その取り組みについて議員はどう考えているのか。そもそもSDGsという言葉がいつ出てきたのか承知しているのか、自分も調べてみたが、ゼロカーボンについてはその考え方が世界の考え方から乖離しており、SDGsについても推進しているのは世界でも日本位です。議会だよりの研修レポートには洋上風力について書いてあるが、風力発電、これは国防に関わってくるが自衛隊のリーダーに非常に悪影響を与えられている。自然エネルギーの推進によって個人の電気料が上がって行くことも考えなければいけないのではないかと。自然災害が多い日本において洋上風力などを進めて良いのかも考えていかなければいけないのではないかと思います。 ○ゼロカーボン、SDGsの取り組み、世間の風潮に流されているような気がする。 ○白符の風力発電、森林組合に申し出がなかった。多少手落ちではないか。</p>
<p>2/6 (火)</p>	<p>■月崎1(月崎1町内会館)18:00~19:26 参加者:7人(男5人、女2人)</p> <p>【議会関係】 ○議会だよりに会議の出席状況があるが、都合によっては出席できない事もあるが×となっている。これから新しく議員になる人も見られる方がるので、表現の仕方を工夫したほうが良いのではないかと。 ○議運で次期改選期に向けて議論していくが、どういう方針でいくのか。 ☆議運での検討状況、考え方について説明。 ○女性議員が出てくるようがんばってもらいたい。女性団体でリーダーシップ取っている人が適任だと思うが難しいところもある。 ○議員の雑感についてはどうかと思うが、議論はあったのか。 ☆掲載までの状況を説明。 ○議員の雑感について、議会としてこれでいいのか。ゲラで持ってきた際にどのような審査をしているのか。議会をつぶしにかけている内容であるので、他の8人で審議すればどういう結果になるか活字にする前に考えなければいけない。 ☆議会だよりの掲載までの経緯を説明。 ○議員の質を議員が落としているのにわかっていて掲載したのか。しっかり話していかないとどんどん議会が劣化してしまう。</p> <p>【防災関係】 ○町内会独自で防災訓練をやっているが、会館が避難所になるのに備蓄品がないので多少置いてもらえれば良いと思う。</p>

	<p>◎町で行っている避難訓練に出ない町内会もあるのか。知り合いに聞いたら避難訓練あることも知らない状況だった。別な町内会での参加もできるなら連れて行ってあげたい。 ☆案内は町内会長宛てにきていて、町内会によって対応が違う旨説明。</p> <p>◎避難訓練については、逃げる場所や道路など物理的なものは行政や議会だが、実際に逃げるのは個人である。町内会で避難訓練をした際に、町内会の人には逃げる場所は身体で覚えるよう伝えて取り組んでもらっている。町全体で開催しても開催自体伝わらない人もいるため、町内会のような小さな単位でやればいいが、町内会長でそこまでやってくれる人がいるかにもよる。</p> <p>【観光関係】 ◎横綱ビーチの委員会を中継で見ている。安全対策について修正されればいいと思う。</p> <p>【教育関係】 ◎高校の関係を新聞で見た。建物の増築のほかにも生徒が増えるとその分、町の持ち出しが増えていく事になる。将来的な財政推計を見ていかないと、赤字になったからやめるとい話にもならないので、議会としても注視して行ってほしい。 ☆出願状況や常任委員会での審議状況を説明。</p> <p>【その他】 ◎議会だよりの色使い2色あるが、青が一番見やすい。町の広報が蛍光色で目が疲れて見づらく感じる。 ◎色の見え方は人それぞれで、全く気にならない。</p>
<p>2/7 (水)</p>	<p>■月崎2（月崎2町内会館）18:00～19:06 参加者:9人(男4人、女4人、新聞社1人)</p> <p>【議会関係】 ◎議会の形として、町村会議というものがあると聞くが、福島町でも考えてみてはどうか。 ☆人口が減少しているといっても3,000人台の人口を有する現在の福島町で町村会議を実施することは難しい。 ◎新聞で見たが、2050年には福島の人口が1,000人台になると聞いた。このままの体制を維持できるのか。 ☆今後は広域事務組合による対応範囲を拡大することや、合併も選択肢の一つとして考えていかななくてはならないと思うが、今の段階では単独でできるところまで頑張っていきたいと考えている。定数については現在の検討状況を説明。</p> <p>【産業関係】 ◎大きな魅力のある職場が必要。職場がなければ人も来ないし、若い人も残れない。学校を卒業すれば出ていくしかない。地場産業が第一次産業という関係もあるかもしれないが、収入の格差があまりにも大きければ残れとは言えない。 ◎勤めるのではなく、自分で商売をやればいいのか。例えば籐器だとか。 ◎商売になればいいが、難しいのではないかな？ ☆東京の会社に勤めているが、普段は福島からリモートワークしており、年に数回東京に行くという働き方をしている人もいることを紹介。 ◎リモートワークの人を誘致するようなことも考えてはどうか。 ◎自分の勤めている会社でもそうだが、3分の2は町外の出身で、地元の間人はあまりいない。地元企業に就職しても、住んでいる場所は函館という話は結構聞く。</p> <p>【観光関係】 ◎トンネル記念館の展示物撤去は決定事項なのか？</p>

☆まだ決定事項ではなく、検討中。老朽化が進んでいることは事実だが、議会としては残す方向で協議するよう町へ意見を提出している。

【衛生関係】

◎ゴミ処理代が管内で一番高いということで、町内会連合会総会の中でも話題があった。視察に行くなどしてできるだけ減らすよう活動してきたが思うように減っていないのが現状である。ごみ減量化推進委員会議が4年ほど開催されていないため、委員から町へ意見や状況を伝えることができていない。

☆町でも様々な取り組みを行っているが、盛んだった時期に比べると停滞してしまっている。議会からも意見を提出しているが、町民から声が上がれば拍車がかかるのではないかと思う。

◎（役場でのごみ捨ても分別が徹底されていないという議長の話に対して）まず役場から出すゴミの分別から意識を変える必要がある。

【教育関係】

◎学校へのエアコン設置とあるが、来年から始めるのか。

☆今年度の内から発注等の対応を行っており、実際に設置されるのは4月以降になると思われる。

◎ドローンサッカーというのは、そういった競技があるのか？

☆ドローンサッカーについて説明

◎高校でドローンの資格を取れるのか？

☆資格取得に向けて取り組みを行っている。

【議員定数・歳費関係】

◎（議員定数等について状況を説明した後、意見はないか問いかけた返事）何か言ってもその通りにやってくれるわけでもない。

【その他】

◎第7弾の地域商品券が配られた。ありがたいことではあるが、いつまで実施するのか？他の自治体よりも回数が多いように感じる。

☆国の施策であることを説明。

◎ドローンは災害時などにも役に立つ、これから発展していく技術だと思うのでどんどん活用するべきだ。

◎企業でも職員に免許を取らせるように動いている。

☆消防でも職員に免許を取らせるよう動いていることを説明。

◎ドローンの免許を取るためには結構お金がかかると聞くが。

☆町では仕事の資格取得等に対して補助を行っており、ドローン操縦免許も対象になるかもしれない。

◎SDGsについて、役場ではどういった取り組みをしているのか。

☆町広報にも掲載されているように、様々な分野の取り組みがあり、来年度から始まる第6次総合計画の中で取り組みを進めていく予定。

◎人口が減っているというが、その人口の半分以上は高齢者で、限界集落化していくのではないか。

☆今後は広域事務組合による対応範囲を拡大することや、合併も選択肢の一つとして考えていかなければならないと思うが、今の段階では単独でできるところまで頑張りたいと考えている。

◎役場職員でドローンの免許を持ち、操作できる人はいるのか。

☆全員ではないが、数名いると聞いている。

◎役場を辞めて他の会社で働いている人もいるが、役場に勤めていた方が絶対に良いと思うがどうして辞めるのか。福島の中では役場が一番いいのではないかと思っているのだ

	<p>が。一番の大企業ではあるので。 ☆昔に比べると簡単に辞めてしまうし、募集しても中々優秀な人が集まらない。公務員自体人気がないのかもしれない。 ◎役場職員もちゃんと増やしてやらないといけない。雄武町のような例もあるので心配。 ◎募集をかけても来ないのであれば、給料を高くしてやるしかないのでは。今は給料が高くなければ人は来ない。 ◎ふるさと納税が増えているようだが、色々なところに使っているのか。 ☆それほど使っておらず、積み立てている状況。</p>
2/7 (水)	<p>■丸山団地(丸山コミュニティセンター)18:00~18:47 参加者:3人(男3人、女0人)</p> <p>【産業関係】 ◎白符地区で計画されている風力発電、可能性はあるのか？ ◎計画では10基以上設置するようだが、それだけのスペースがあるのか？現実的に無理では？やるならソーラー発電のほうがいいのでは？ ◎風力発電の仕組みがわからないが、本州では問題になっている所もある。大丈夫なのか？ ☆風力発電は、まだ具体的な話ではない。この前白符地区で説明会を開催しており、今後、環境アセスメント等を実施していくと聞いている。</p> <p>【教育関係】 ◎高校の出願29人全員が入学するのか？ ◎町外から高校に入ってもらうのは良いが、地元には益はないと思う。色々支援しても、卒業後は町外に出てしまうなら支援する意味がない。それなら別の町民のためになるようなことに手を付けていく方が良い。 ◎地元の働く場所の創出、川魚の養殖等良いのではないか。周りでやっていないので。 ☆高校の存続、町にも色々メリットあると思っている。地元の受け皿を作っていく必要があるのはその通りで、今後の大きなテーマになっていくと思っています。</p>
2/7 (水)	<p>■塩釜(塩釜町内会館)18:00~18:30 参加者:0人(男0人、女0人)</p> <p>※参加者がいませんでした。</p>
2/9 (金)	<p>■白符(役場 機能回復室)18:00~18:25 参加者:0人(男0人、女0人)</p> <p>※参加者がいませんでした。</p>
2/9 (金)	<p>■新栄町(新栄町集会所)18:00~19:35 参加者:12人(男6人、女6人)</p> <p>【議会関係】 ◎前回の議会だよりの各議員の目標を読んで、それを基に活動するんだということが分かった。 ◎今後の第6次総合計画については真剣に議論が必要だと思う。町で、令和12年の人口ビジョンの2,600人を維持したいので総合計画を策定しているが、2,600人で福島町の姿がどうなっていくのか議員さんも町民と一緒に考えていかないといけないと思う。将来の福島町についてどう考えているか聞かせてほしい。 ☆人口は各町で減っていく。福島町で急激に減らないような対策と、維持していけるような施策を考えていくのが議員の務めだと思っている。 ◎考えていくというが具体が示されていない。人口が減っても豊かさを感じられるような施策を考えてほしい。 ☆保育料や給食無料等の政策のおかげで、漁師の家庭で2人目3人目と子どもが増えてきてい</p>

る。また、高校も存続させるために全国募集し、青少年交流センター増築するまで来ている。定住住宅の建設含め、亡くなる人も多いが少しでも人口減少を遅らせる取り組みをしている。

- 議会だより全然読んでないという人いるが、テレビで議会だよりが商店のチラシみたいな書き方しているのを見た。そういうのなら読んでみたいと思う人もいるのではないかな。
- 懇談会をいつもこの時期にやっているが、帰りに滑って怪我すると困るので、雪のない時期に開催してほしい。また、開催時間も30分ずれば、主婦の人も来やすいのではないかな。

【産業関係】

- 福島町は1次産業のまち。根本は1次産業だが1番疲弊しているのは農業。なり手がいない。若い人もそれだけで生活できないから後継者がいない。どこに力点を置いていくか。議会も提案型の議会と書いているが。
- ☆吉岡地区は昆布漁師の若い人たちが戻ってきてやっている。おかげで吉岡小学校の児童の人数も少しずつ増えてきている。近年役場もすぐやめる人が続出している。高校生も町外から来るが、今の子どもたちは横のつながりがなく人づきあいが苦手な子も多いので、3年間生活してもらって、やってみないとわからない。
- 議会だよりの産業振興資金貸付条例の一部改正の説明について、読んでもわからないので詳しく説明してほしい。
- ☆内容について説明。

【教育関係】

- いま町外からきている子が卒業するときどれだけ残ってくれるか。
- ☆すぐ結果が出るものではない。高校卒業する子が残ってもらうようにするのが、行政と議会の使命。いろんな環境を整えていかないと持続可能なまちづくりは厳しいと思う。
- 卒業した人が、生活基盤が成り立つ環境となると、民間の活力をどう活かすかがポイント。町内の民間の活力が弱い。運営するのに町から補助金もらっている団体ばかり。
- ☆1次産業中心に雇用できるよう努力している。養殖昆布、林業も持ち直してきている。農業のほうも伸び悩んでいるが、民間の人たちも頑張っている。

【防災関係】

- 松前半島道路の計画はどこまで進んでいるのか。
- ☆現在の状況を説明。

【第2青函トンネル関係】

- 第2青函トンネルについて、知事を読んできて町民の高まりがあることを示せばいいと思う。
- ☆渡島西部四町でも協力を得ながら取り組みを進めている。
- 青函トンネル実現する会は年会費もかからないで署名するだけで入れるので是非入ったほうがいい。

【議員定数・歳費関係】

- ☆本当は議員の歳費で独り立ちして子育てしていけるくらいにならないといけないと思っている。高いと言われるが、専任でやるのであればそれくらい議員の環境も考えていかなければならない。
- 4年後に失業するかもしれない。
- ☆若い人に議員になってもらうにはそれくらい上げないといけないと個人的には思っている。議員も女性のなり手を探しているのでぜひ検討してもらいたい。
- 1人だと潰されてしまうかもしれないから、3人位はほしい。

【空家関係】

- ファミリー向け住宅整備はわかるが、小さい子どもがいると集合住宅に入る人と古くても一軒家に入る人がいると思う。空き家を安く買いたとしても誰に聞けばいいかわからないし、個人情報もあり教えてもらえない。空き家を町で補助して若い人や給料の少ない人が住めるようにしたいのではないかな。立派な住宅を建てても入れない人もいるので、家賃も低く設定した住みやすい環境を作らなければならないとどんどん若い人が町外へ出て行ってしまふ。空き家をなくすような取り組みをしてはどうかな。

	<p>☆空き家も個人の住宅なので、町が買った住宅であれば補助等考えられるが、行政としてもある程度線引きが必要となってくるのでご理解いただきたい。他町では同じようなことはやっていないので。</p> <p>【その他】</p> <p>◎せっかく高校に入学する人数が多いので、都会から田舎に来て就職してほしいが、住む場所等の問題がある。地元でも若い世代が就職して実家から出て生活をする場合も、空き家や中古物件を買う場合も費用がかかるので断念する状況がある。こういう手段があると相談できる窓口があると親とすれば助かる。</p> <p>☆三岳にも子育て向けの住宅が整備されたりもするので、情報発信してくれればというのはもっと行政のほうに言ったほうがいい。</p> <p>○大阪から移住してきたが、とても住みやすい。人もいい。ただ、移動手段がないから雪が積もったときに買い物行くと滑ったりする。</p> <p>◎町の自主財源年間で何億か知ってますか。福島町独自で稼ぐのは4億。議員報酬と役場職員の給料は6億。2億足りなくて交付税で賄っている。産業を頑張って自主財源を増やしていかないと。</p>
<p>2/13 (火)</p>	<p>■三岳 1（三岳 1 町内会館） 18:00～19:18 参加者:6人(男4人、女2人)</p> <p>【議会関係】</p> <p>○議員の雑感について、編集委員などはいないのか。町外の人も見るものではないのか。こんな内容を載せて他の議員は恥ずかしくないのか。</p> <p>☆掲載に至るまでの経緯、倫理条例や議会だよりに掲載する内容について一定の制限を設ける予定であることを説明。</p> <p>○任期が始まったばかりで「勇退する」と言うような議員は今すぐにでも辞めるべきだ。町民からそういった意見があったことを議員本人に伝えるべきだ。</p> <p>○誰かに頼まれたから立候補したというような話も聞いたが、そのような人が議員をやっているのはおかしい。</p> <p>○自発的に立候補する人がおらず、人数が足りないのであれば仕方のないことだろう。</p> <p>○議員会に入っていない議員がいるという話も聞く。議員同士のまとまりがない。近隣の町ではそのような話を聞いたことがなく恥ずかしい。</p> <p>○今のような状況になっているのは議長に責任があるのではないか。</p> <p>○今回、広域事務組合議会の議員等を外れたようだが、このような議員に外部での役割を任せる必要はない。恥をかくことになる。</p> <p>☆議員の雑感および当該議員への対応について説明。 議長「自身に対する批判は甘んじて受ける」</p> <p>○どうして長い間、若い人の育成をしてこなかったのか。育成という意味合いも込めて若い人を副議長にするという考え方もあったのではないか。どうしてそうしてこなかったのか。</p> <p>☆議長、副議長は議員間の選挙により決定することを説明。</p> <p>【産業関係】</p> <p>◎今は半導体の時代という話も聞く。</p> <p>☆リモートワークなど新しい働き方の可能性について説明。</p> <p>◎半導体を作った方がいいが、買い手がつかないという話も聞く。その辺りは大丈夫なのか。</p> <p>☆道や国ではそういった点も考慮した上で進めていると思う。</p> <p>○風力発電については町でもやるつもりで進めているのか。</p> <p>☆説明会の内容を説明。固定資産税が安くなるという説明。</p> <p>○まちづくり工場の社員になっている議員は平沼議員と花田元議員だけ。他の議員が入らないのはなぜか。若い人たちが一生懸命頑張って観光業や商品開発、販売をして貢献し</p>

てくれているのだから、議員も入って後押ししたら良いのではないかな。声がかからなかったから入らないではなく、今からでも入って応援したらいいのではないかな。

☆小鹿議員：考えておきます。

溝部議長：最終的には個々の判断ではあるが、設立の経緯や今後の対応を考えると、議論や検討をする立場の議員という立場では入るべきではないと考えている。

【福祉関係】

◎ワクチンの補助について確認してもらいたい。肺炎球菌ワクチンは2回目以降、町の補助がない。带状疱疹ワクチンも町の補助がない。近隣町ではいくらかの補助があると聞く。また、料金についても20,000円という話と8,000円という話を聞く。違いはなにか。

☆小鹿議員が一般質問予定である旨説明。(R6.2.16 経済福祉常任委員会中に質問。その後、小鹿議員が懇談会での質問者に説明を行った)

【衛生関係】

◎ゴミの減量化対策について、昔、電気処理機を使用してみたが、効果はいまひとつだった。コンポストも使用したことはあるが、クマやキツネの被害で使用できない。段ボールに必要なものを入れて分解する方法を使ったときは一晩で生ゴミが何もなくなる位効果があったが、この辺りでは取り扱っている店がない。

【防災関係】

◎町での避難訓練は平日に実施しているが、仕事をしている人はなかなか参加できない。できれば日曜日にやってもらえると参加しやすい。平日に参加するとなると仕事を休まなくてはならないので、考えてもらえないだろうか。町職員にとっては休日出勤で負担になるかもしれないが。

◎今の地球全体の気候が雨風雪の多い時代になって、地層の中に入っていく、それが凍って溶けて、岩盤を割って災害が本当に増えている気がする。地震だけではなく、大雨が降った場合にすぐ退避できるような対策をとることも必要になってくるのではないかな。例えば急峻な崖に面した場所などに住んでいる人に対して、大雨や風、雪の場合は、一旦退避できるような対策を取る方法を作り上げたらどうか。

【教育関係】

◎人口減少は仕方がないという風潮にあるが、高校から大学への進学を支援し、戻ってきてもらうという方式を確立できないものか。

◎高校生がたくさん入るようによかった。町民を挙げて歓迎しなくてはいけない。

◎舎監の先生も大変だと思う。親代わりとして責任も感じるだろう。教育長も一緒に管理に入って頑張っている。

◎生徒と話をするとう素直な子たちで好感が持てる。

◎人口問題はどこの町でも大変な思いをしている。前に知内町長がインタビューしたものを讀んだが、人口問題は、子育て支援から行かないと駄目。一番お金がかかる高校から短大、大学までであり、その世代が社会に出るまで支援するような仕組みを作ってみたいというようなことを話していた。どういった仕組みになるのか楽しみ。福島町も知内町の話参考に、一旦福島から離れてもまた戻ってくるような仕組み、ここで生活して福島町に寄与できるというような人口増対策にも繋がるプランニングをしてほしい。

◎半導体の時代ということで、北海道ではラピダスの誘致もされている。高校で半導体についての学習にはまだ入っていないと思うが、今後高校でも教えるよう、ぜひその意向を伝えて欲しいと思っている。

【議員定数・歳費関係】

◎ある程度人数を減らして、その分をみんなで割り振りをしてもいいのではないかなという

	<p>声もある。</p> <p>○道新でこの先、人口が半分になると読んだ。現在いる議員の大半は後期高齢者となる。定数は2でも4でも減らせばいい。今でも足りていないのだから。</p>
2/13 (火)	<p>■三岳2（三岳2町内会館）18:00～19:03 参加者:6人(男3人、女3人)</p> <p>【福祉関係】</p> <p>○高校、宿舍の増築も良いが、高齢者の施設も建ててほしい。陽光園は待機者がいて入れない状態で、函館の施設に入っている人がいるが、家族も高齢で車も無く大変な状況にあるので。</p> <p>☆町内には特養、やまゆり荘、グループホームがあるが、福祉施設の増築は簡単にはできない。</p> <p>○一度付いた介護度は変更できるのか？</p> <p>☆出来ます。何かあったら役場の包括支援センターに相談して。</p> <p>○低所得者支援金(7万円)、税金を滞納している人はもらえないと人から聞いたが本当か？</p> <p>☆税金を滞納していればもらえないと思う。</p> <p>【除排雪関係】</p> <p>○国道の除雪、毎回言っているが何とかならないのか。</p> <p>除雪が入るたびに家の前(歩道)に雪を堆積していき、退けるのに大変苦慮している。今はスマホもあるのに歩道の除雪ローターと連絡を取り合ってやれないのか。</p> <p>☆町を通じて開発に伝えます。</p> <p>○毎年同じ。議会の検討課題として出していく。</p> <p>【議会関係】</p> <p>○この懇談会、来年もやるのか？町政懇談会の後だとあまり言うことがない。</p> <p>○懇談会、日中できないのか。この時期暗くなってから集まるのは道が悪くて大変。三岳2は日中のほうが集まると思う。</p> <p>☆日中は働いて来れない方もいるためこの時間としている。</p> <p>【教育関係】</p> <p>○ドローンサッカーとは？ドローンでサッカーするくらいなら実際にボールを使ってやるべき。</p> <p>○もっと地元に出すべき、畑や田んぼに行かせては？</p> <p>☆ドローンサッカーはドローンの操作に慣れさせるための手段として活用。</p> <p>【町内会要望・町内会活動】</p> <p>○澤田栄さん宅横の川(ごろべい沢？)、川底の砂利が流されていて擁壁が浮いている状態。このままだと崩れると思うので確認・対応して。</p> <p>☆担当課に連絡します。(R6.2.14 建設課に報告済)</p>
2/13 (火)	<p>■千軒(千軒活性化センター)18:00～19:41 参加者:7人(男5人、女2人)</p> <p>【議会関係】</p> <p>○議員の定数について、議員の担い手について適任でありそうな人への声掛け等活動しているか。一般の町民よりも現職の議員の目線で後継者探したほうがいいのではないか。</p> <p>☆現在の検討状況等説明。</p> <p>○過去に議員定数を減らしたほうがいいのかという運動をしたことがある。福島町の議員は兼業でやっている人が多い。給料体系を高くして生活できるレベルまで上げて、議員一本でやれるようにしてあげたらどうか。</p> <p>○すべての分野で担い手がいない。議員の資質があると見極めるのは現職のほうが目が肥えていると思う。</p>

☆次期改選期に向けての議運での検討状況説明。

☆副業で議員をやるとなると会社の理解が必要になってくる。それでも何回も休むわけにはいけないので、会議の開催時間なども考えなきゃいけない。そこまで意欲のある町民がいるのか。議会はただ出された案件をやみくもに賛成しているだけでなく議論ぶつけた結果で賛成している。なんとなく行政から出されたものに質問するのが悪いという風潮が町内にあるが、本来は議員が町民の代表である。いまは議員と町政について熱く語るような人がいなくなった。町民も意識レベルを上げていかないといけない。

【観光関係】

◎道の駅様々な意見出て最近無くなったがどうなっているか。福島に町有地あってそれを利用してキャンプ場出来ないかという話を聞いたが、どうなっているか。

☆岩部地区の活性化構想について説明。

◎茂辺地のキャンプ場も年間で結構人が来ているので、福島町に将来的にキャンプ場ができるなら来てもらってお金を落としてもらいたい。

☆福島と関係を持ってもらって移住定住につながればいいと思う。

【産業関係】

◎去年の大学生の搜索の件があり、役場と消防にクマ撃退スプレーが効果があるので常備したほうが良いと提案した。役場はすぐ対応したようだが、消防のほうはまだ対応していないようだ。福島町は不名誉なことで有名になってしまった。

【教育関係】

◎新聞で高校の寮を増築する記事を見た。何年か後には減っていく可能性もあるので、空き家を活用して住む場所にできないだろうか。

☆全国募集の状況等説明。寮もセールスポイントとなっているので難しいのではないかな。

◎全国からきてくれて町にメリットがあればいいが、出ていく人も多いから卒業して何人か残ってくれればいいと思う。

☆田舎に来て人生を変えたい子が集まり、大学等で福島を離れるけど戻ってきて働きたいと言ってくれている子もいるようなので、戻ってこられるような魅力あるまちづくり、働く場所を作るといのは行政のまちづくりの課題であり、人口が減る中で数年後どの程度町に戻ってきてくれるかを考えて子どもたちに投資していると考えている。

◎雪まつりは町民とのふれあいの場になるから高校生にも参加してほしい。

◎急遽増築することになったが財政は大丈夫か。財源はそんな簡単に出てくるものなのか。

☆2/13 総務教育意見書手交での状況を説明。

◎〇過疎債といわれてもわからない。

☆過疎債について説明。議会だよりではわからない言葉についての説明も入れているので是非見てください。

◎高校生が将来戻ってきてくれる可能性もあるというけど、受け入れるところをいろんな方法で考えていく時期かと思う。建設業や土木業、漁師はほとんど養殖で、そのほかにもっと魅力あるものがないか考えているが、若い人の考え方が大事だと思う。まちづくり工房に期待していて、何か言い考え出してくれないかと思う。シカの角つかったアウトドアグッズ作るなど年寄りだと思いつかない。

☆町内に戻ってくるには地元企業を強くしていかなければならないが、背伸びしている余裕もない。安岡さんみたいに新たな分野に手を出していく事で町内に仕事する場所が出てくる。やってみる仕事を見て興味を持ってもらう。

【福祉関係】

◎温泉のバイオマスボイラー用のチップを知内町から購入することとなっているが、知内町で置く場所が無いくらい余っていると聞いた。

☆交渉して単価を決めて1年間購入する。その後は安岡建設でチップを作ってもらおう。地産地消

	<p>となる。</p> <p>◎新しい吉岡温泉の本格稼働はいつ頃か。 ☆4月下旬くらいである。</p> <p>【町内会要望・町内会活動】</p> <p>◎白符地区のクマの事件があった墓地に毎年電気柵を張りに行くが、ゴミだらけで唾然とした。管理する人は高齢であるが町内会でごみ拾いしようとならないのかといっても改善されないのので、毎年役場職員と一緒に拾っているが全然片付かない。町内会の人は何でも行政となっている。</p> <p>☆自分たちでやれることは自分たちでやってもできないことは行政にと町民に意識してもらわなければならない。</p> <p>【その他】</p> <p>◎商工会青年部がやっている雪まつりが千軒地区で開催するようになった、毎年わんぱく相撲として子どもたちの相撲大会をやっていた。今年の打ち合わせ会議の際に、教育委員会側で参加する子どもたちもその場をかき集めたりしているため開催は無理なのではないかとのことで協力できない旨の話がされた。福島町の子どもたちを楽しませるためにやっているのに役場が協力できないというのはどういうことか。</p> <p>◎町の団結と協力の事について以前も話したことがあるが、町としてまとまりが欠けるところがあると思う。千軒の雪まつりも、子どもたちを喜ばせるためにやっているイベントをなくさないように考えなきゃいけないのに、協力できないという話はだめだと思う。町外にも PR して毎年来てもらうように。</p> <p>☆おっしゃるとおりであるが、片方だけの話だけでなく教育委員会にも確認してみます。(R6. 2. 14 教育委員会に確認。わんぱく相撲は相撲協会が運営しており、相撲協会の立場で出席していた職員が協会として運営が厳しいとの判断で打ち合わせ会議の際に説明したとのこと。その後、商工会と打合せ等し、今年も開催することとなった旨確認)</p>
--	---